H26

第4号

益田翔陽高校 総合学科通信

2014年11月12日発行

3年生「課題研究中間発表」について

９月１７日（水）に今年度2回目となる3年生の課題研究の発表会がありました。これまで取り組んできた研究を、①研究の流れ、②研究の内容、③研究結果、④まとめ、⑤今後の課題という項目でパワーポイントにまとめて、１人4分という持ち時間で発表してもらいました。

今回の発表ではどの発表も写真を効果的に取り入れ、とても分かりやすくまとめてありました。また、1・2年生も今後取り組んでいくこともあり、真剣に視聴していました。

今回の発表の中で、「圧力をかけるお菓子」をテーマにして発表した鎌田拓斗君の発表後のレポートをここに記載するとともに、この発表を視聴した2年生の感想もあわせて掲載します。

【3G　鎌田拓斗君のレポート】

今回の中間発表で、写真を全く撮っておらず発表しづらいと分かり急いで写真を撮り、間に合わせたり、冊子原稿の提出がぎりぎりだったりと、段取りが悪かったのでこれからは計画を立ててスムーズに進めていきたいと思います。また、原稿を間に合わせるのも遅く、原稿を頭の中に入れることができませんでした。その結果原稿を見ながら下を向いて発表することになりました。さらに、練習もできず、ぶっつけ本番だったので、発表時間も大きくオーバーしてしまいました。なので、次回は早くに原稿を完成させ、何度も練習し、きちんと頭の中に入れ、パワーポイントを指しながら視聴者に向け発表したいと思います。

発表スライドも、黒単色で変化がなく、分かりづらかったと思います。図やアニメ-ションを使ってより分かりやすいように作りたいと思います。

発表するとき緊張してしまい、手や声が震えてしまいました。おそらく顔も真っ赤だったと思います。落ち着いて発表するためにも準備をきちんとしていきたいと思います。

【2G　Aさんの感想】

鎌田さんのポン菓子の研究には驚きました。たまにポン菓子を食べるけど、作るための機械を写真で見るのははじめてで、すごく勉強になりました。ポン菓子の材料がお米だけではなく、いりこなどでもやっておられいろいろなもので試してみてすごいと思いました。ポン菓子に興味がわきました。

【2G　Bさんの感想】

印象に残った研究は自分でポン菓子を作る研究です。ポン菓子を作るのにあんなに大きな機械がいるのは初めて知りました。機械の説明もしていていろいろなものでポン菓子を作っていましたが、なぜできなかったかをしっかり考えてどうしたらうまくいくのか、いろいろと挑戦していてすごいと思いました。